

市政に対する一般質問一覧表

平成25年第3回定例会

質問順位 1

議席番号 8番

氏名 太田博之

質問時間 15分

質問事件	質問の要旨
1. 経済問題	<p>1. 基地関係者による基地外飲食について</p> <p>「基地のまち」と称される当市の経済は、基地関係者に寄るもの大であります。そこで、三沢市の飲食業分野における基地関係者の動向について伺いたい。</p> <p>①自衛隊関係者の基地外飲食の実態を市はどの様に把握しているのか。また、その対応について伺います。</p> <p>②米軍関係者の夜間外出制限が未だ継続されている中、行政としてこの現状をどの様に捉え、対応してきたのか。また、今後についての対策を伺います。</p> <p>2. 「三沢まつり」における今後の展望について</p> <p>平成15年に自作山車となって以来、MISAWAらしい祭りとして年々進化している中、行政として今後の展望をどの様に描いているのか伺いたい。</p> <p>①前夜祭のあり方について</p> <p>②合同運行のあり方について</p> <p>③山車団地の構想について</p>
2. 行政問題	<p>ソーシャルネットサービス（SNS）の導入について</p> <p>行政のソーシャルネットサービス（SNS）の活用が当たり前になりつつある中で、当市のSNSの活用について伺いたい。</p> <p>①現状でのSNSについての見解を伺います。</p> <p>②当市のフェイスブックページの開設について伺います。</p>

質問順位 2

議席番号 9番

氏名 野坂篤司

質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
1. 三沢駅周辺整備問題	<p>明治27年4月1日古間木駅開業以来約120年の歴史を刻む三沢駅周辺は、過去に例がないほどの変化を遂げようとしています。</p> <p>平成30年度をめどに整備工事計画を予定しているようですが、50年後100年後を想定した計画でなければならないと思います。</p> <p>三沢駅周辺整備基本構想について伺います。</p>

<p>2. ネット事件問題</p> <p>3. 偉人伝教育問題</p>	<p>①「三沢駅周辺整備基本構想検討懇談会」が開催されていますが、検討懇談会の意見をどのように反映するのか伺います。</p> <p>②整備基本構想は単なる「三沢駅」の利便性とバスターミナルだけの整備にするのか。観光を中心とした集客施設を含め、周辺の活性化を図るのか。考え方を伺います。</p> <p>小・中・高生徒の「携帯・ネットいじめ」から自殺者が出る事件が発生しています。野辺地町教育振興会生徒指導委員会と野辺地町各小・中PTAが中心になり「小・中学生にケータイはイリマセンゲン（宣言）」を行いました。</p> <p>三沢市教育委員会でも積極的に推進するべきと思いますが、考え方を伺います。</p> <p>文部科学省作成の小中学生向け、道徳補助教材「心のノート」改定に関し、偉人伝教育を導入する考えを示しています。</p> <p>人は尊敬する人物のようになりたいと思って努力するのです。世界の偉人に学び、子どもの心に夢と希望と情熱の火をつける教育が大変重要と考えます。</p> <p>偉人伝教育についてどの様に考えているのか伺います。</p>
-------------------------------------	---

質問順位 3

議席番号 16番

氏名 山本 弥一

質問時間 30分

質問事件	質問の要旨
<p>1. 行政問題</p>	<p>1. 地方分権と行政運営のあり方について</p> <p>2 1世紀を迎えた今日、高齢化や高度情報通信化など行政を取巻く社会の環境は大きく変化している。又、この変化に伴って、市民の行政ニーズが増大し多様なものとなってきています。このため、各自治体が地域の実情にあった政策を市民との協働により実施することが求められている。それには、総合的な行政を展開できる組織改革が必要である。よって、今後の行政運営において地域の課題解決のため、政策の企画段階からの住民参加を保障し確保して、住民に開かれた組織が重要である。市民参加なくして、住民本位の行政の実現はあり得ない。したがって、市民の自立、自助の精神を尊重しながら「住民と行政のパートナーシップ」と「住民と行政の共生」をいかに構築するか問われています。</p> <p>地方分権時代を迎え、本市の行政組織改革に市長はどう取り組み、今後の行政運営に対応するのか伺いたい。</p>

2. 地方分権と活性化対策について

近年、住民は経済やモノ重視志向から人間重視の傾向を強めてきているところである。

これに伴って、人間関係も複雑多様し、これまでの政府の主導によるタテ割り画一行政では通用しない時代で木目細かな行政の対応が求められてきています。このため、各市町村の行政において単なる「行政サービスの提供」だけではなく、さまざまな利害を調整し、地域社会を計画的に経営する政策立案能力が問われます。本市の「街づくり」の目標を設定するためには、まず「価値あるもの」「その存在価値を高めるものは何か」これを創生することが第一条件であります。その存在価値を高めることが活性化であり、反対に価値のないところに活性化はありません。よって、本市の振興対策においてもこの価値観を見出さなければなりません。

本市の「街づくりの活性化」は、他人から学ぶことはあっても自ら考えて実行する他ありません。

本市の「街づくりの活性化」を図るために「街づくり活性化委員会」を立上げ、それぞれ専門部会を設け、活性化への活路を見出すべきと思うが、その取り組みを問う。

3. 「特産品」開発の課題について

本市は農産物加工施設の完成により「特産品」の開発を目指している所であります。

近年、特にクローズアップされてきて「特産品」は街づくりの資源となっています。

しかし、「特産品開発」は全国各市町村の大半に及んで、過当競争下に入りつつあると言われていています。「特産品」の開発は住民が自らの手で自らの知恵を出し合って取り組むところに大きな価値があります。難しいが「特産品」の開発に関する事業に自己の人生観と経営観、そして使命感を確立し、経営理念を打ち立てなければなりません。

特産品の開発は鋭い頭脳の使用法であり、指導的立場にあたる方々に期待してやみません。本市の農産物加工施設の利用状況と「特産物」への取り組みについて伺いたい。

質問事件	質問の要旨
1. 三沢ー大阪(伊丹)線の維持・拡大について	<p>三沢ー大阪(伊丹)線は今年3月31日、約2年5ヶ月ぶりに復活しました。</p> <p>大阪便の復活は、三沢市民のみならず県南地域自治体の悲願であった。この復便により関西圏域との往来が飛躍的に利便性を増し、今後、経済・文化など様々な面でプラスの効果が期待出来る。</p> <p>伊丹空港は、大阪・京都・神戸への玄関口であり、当市の今後の発展のためにも、維持存続・拡大を図って欲しい路線である。</p> <p>今般、ジェイエアの三沢ー大阪線就航を記念して、「青森県民の翼」ツアーが5月31日に実施され、好評であったと聞く。当市でも「種市市長と行く市民の翼」ツアーなどを企画したらどうか。</p> <p>二度と運休することのないよう、復活した大阪便を、地域と共に守り育てていく、その決意を表明するためにも、ぜひ「三沢市民の翼」ツアーの実施を望むものである。</p> <p>次の2点について伺い致します。</p> <p>①三沢ー大阪(伊丹)線の利用状況について。</p> <p>②大阪(伊丹)線就航を記念して「三沢市民の翼」ツアーを実施する考えはないか。</p>
2. ウェナッチコーナーの設置と経済交流について	<p>姉妹都市の紹介とともに、ウェナッチの物産を販売するなど、経済交流につなげる活動をするため、市内の人の集まる場所に「ウェナッチコーナー」を設置する考えはないか。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 防犯カメラの設置について	<p>近年、犯罪・事故等が多種・多様化する中、防犯体制の強化が求められていますが、その中で対策の一つとして全国的に防犯カメラの設置が増加傾向にあります。現在、三沢市では一部の学校や公共施設には防犯カメラが導入されているが、子供たちが公平に安心・安全に学べる学校の環境の実現の為に全ての学校に防犯カメラを設置すべきと考えるが、行政としては今後どのように対応していくかお伺いします。</p>
2. 生活保護について	<p>高齢化・不況などの中、全国的に生活保護受給者が増加傾向にありますが、三沢市においてはどのような状況になっているのか質問します。</p> <p>①直近3年間の被保護実世帯数・被保護実人員及び保護率はどのようになっているかお伺いします。</p> <p>②被保護者の中で就労可能者の人数と就労支援はどのようになっているかお伺いします。</p>

質問事件	質問の要旨
<p>1. 公共施設マネジメントの取り組みについて</p>	<p>三沢市はこれまで、防衛の補助でさまざまな公共施設や道路を整備してきた。今後予定されている国際交流スポーツセンターや市営住宅の建設、また、将来的にみても、老朽化に伴う公共施設の建替えも必至となることから、維持管理費等も含め財政負担が膨大となることが懸念される。以上の観点から次の2点について伺う。</p> <p>①三沢市の人口1人当たり公共施設延床面積はどのくらいか。</p> <p>②将来の公共施設の整備、改修、建替え、管理運営のあり方を財政上からも精査し、公共施設マネジメントの取り組みとして、まずは「公共施設マネジメント検討委員会」を立上げ、中・長期的な視点で公共施設の再構成と安心・安全で持続的な施設サービスの充実を目指すべきと考える。当市の見解を伺う。</p>
<p>2. 転入者対応について</p>	<p>三沢市では、年間2千人もの転入者があるとのこと。その中で、土地勘もなく地域の方々との結びつきがうまくできず孤立している方がいる。現在、市民課窓口で転入者に対し、三沢市のくらしやイベントなどの情報誌一式を提供しているが、書類の手渡しだけでなく、三沢市のさまざまな情報やサークル活動を紹介し、三沢市での生活を満喫して頂けるような対応策が必要と考える。そこで市民活動・サークル・ボランティアなどの情報提供やくらしの相談を気軽にできる窓口、または情報サロンを開設してはどうか。当市の見解を伺う。</p>
<p>3. 除排雪対策について</p>	<p>今年度の除雪計画策定にあたって、特に寄せ雪・排雪対策について伺う。</p> <p>①除排雪弱者に対する今年度の対応策はどのように計画しているか。</p> <p>②一般市民ボランティアだけでなく、企業に対し寄せ雪やバス停でのたまり雪の排雪などのボランティアを募り、協力業者等に対し、広報やマックテレビでの企業広告を無償にしたり、入札の際の加点にするなどの特典を設けて、広くさまざまな事業所に除排雪ボランティアを呼びかけてはどうか。</p> <p>③雪の捨て場所に苦慮されている市民に対し、遠方の雪捨て場まで雪を運搬できるように、当市として、軽トラックの貸し出しを行ってはどうか。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 健康問題 2. 防災問題	<p>1. 健康寿命延伸に向けた対策について 国においては、今年度から「健康日本21」(第2次)をスタートさせました。今後10年間の日本人の健康に関する目標を定めたもので、最大のねらいは要介護や病気で寝込まず、自立して生活できる期間を示す健康寿命を伸ばすこととしています。そこで本市においての、市民の健康寿命延伸に向けた取り組みについて伺いたい。</p> <p>2. 胃がんリスク検診の導入について 胃がんになりやすいかどうかを調べる血液検査「胃がんリスク検診」は、市民の健康と命を守る施策と考え、その導入について伺いたい。</p> <p>地域や家庭、学校における防災力向上について</p> <p>①本市において、災害時に地域を守るリーダーの役割を果たす「防災士」は何名いるか。</p> <p>②「防災士」を養成するための研修講座の開催については、どのようになされているか。</p> <p>③「女性のための防災研修会」の開催について</p> <p>④市内小・中学校における防災教育の推進について</p> <p>以上の4点について、伺いたい。</p>